

**稲毛区支え合いのまち推進計画
— 第 5 期稲毛区地域福祉計画 —
(令和 4 ～令和 8 年度)**

令和 5 年度の取り組みについて

令和 6 年 3 月 4 日

稲毛区支え合いのまち推進協議会

目 次

○計 画 の 体 系	1
○小 中 台 東 地 区 部 会	2
○山 王 地 区 部 会	3
○轟 ・ 穴 川 地 区 部 会	4
○稻 毛 地 区 部 会	5
○稻 丘 地 区 部 会	6
○千 草 台 中 学 校 地 区 部 会	7
○草 野 地 区 部 会	8
○緑 が 丘 地 区 部 会	9
○301（作草部・天台）地区部会	10
○緑 ・ 黒 砂 地 区 部 会	11
○小 中 台 西 地 区 部 会	12

○計画の体系

基本目標	基本方針（５期）	施策の方向性（５期）	具体的な取組み（４期）	重点取組地区（地区部会エリア）
心のバリアフリーから始まる“地域発”の取り組み — みんなで支え合い、安心して暮らせる稲毛をめざして —	1 みんなの様々な居場所と健康づくり	(1) 誰もが立ち寄ることができる場づくりを進める	① 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○草野地区部会 ○緑・黒砂地区部会
		(2) 誰もが地域で元気に過ごせる健康づくりを進める	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	○小中台東地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○緑・黒砂地区部会
	2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	(1) お互いを知り、コミュニケーションを増やす	③ あいさつから始まる地域との関わり	○小中台東地区部会 ○山王地区部会 ○緑が丘地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会
			④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	○山王地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○緑・黒砂地区部会 ○小中台西地区部会
		(2) 地域での連携・協力による支援と見守りを進める	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	○山王地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲毛地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○緑が丘地区部会
			⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	○小中台東地区部会 ○山王地区部会 ○稲毛地区部会 ○稲丘地区部会 ○草野地区部会 ○緑が丘地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会 ○小中台西地区部会
		(3) 地域の中の担い手、ボランティアを拡大していく	⑦ 福祉活動の中核となれる人材の発掘・育成	
			⑧ 地域での福祉教育の普及・啓発	○小中台東地区部会
		(4) 身近なところで情報を得て、相談ができる地域をつくる	⑨ 地域の情報の収集と発信	○小中台東地区部会 ○稲丘地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会
			⑩ 身近な地域の相談相手の確保	
	3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	(1) 災害時などの支援体制を整える	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	○山王地区部会 ○轟・穴川地区部会 ○稲丘地区部会 ○千草台中学校地区部会 ○草野地区部会 ○301（作草部・天台）地区部会
		(2) 地域でできる防犯の取組みを進める	⑫ 地域住民を地域で守る取組み	○稲丘地区部会 ○緑・黒砂地区部会

【小中台東地区部会】

基本方針（5期）	具体的な取組み（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	<p>地域住民を対象とした福祉講座の中で認知症に関する講座を開催する他、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防についての啓発を行います。</p> <p>また、開催地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会がイベント等を実施し、気軽に参加できる健康づくりや運動の機会を増やします。</p>	<p>地区部会があんしんケアセンターや区健康課等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン（12か所、71回開催、延べ679人参加）などを実施し健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みました。</p>	<p>地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動方法の検討や活動内容など、協議を行い、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。</p>
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	③ あいさつから始まる地域との関わり	<p>町内自治会や学校、青少年育成委員会、セーフティウォッチャーが連携・協力し、登下校時に通学路などで子どもたちと挨拶をかわすと共に、防犯パトロールの際などに、住民同士のあいさつが浸透するよう努めます。</p> <p>また、地域内小学校に依頼してあいさつ標語の作品募集を行い、結果を東西社協まつりや広報紙、掲示板などを活用して広めます。</p>	<p>各小学校で民生委員と青少年育成委員会が連携・協力して登下校時のあいさつ運動に取り組みました。</p> <p>また、近隣校（園生小、小中台小、柏台小、小中台南小）の協力を得て、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、小中台西地区部会と共同開催する「東西社協まつり（10/28）」において、優秀作品の展示を行いました。</p>	<p>引き続き、町内自治会、学校、セーフティウォッチャー等と連携し、あいさつ運動の拡充を図るとともに、地域のイベントや広報媒体等を通じて広報啓発を行い、あいさつ運動が地域へ浸透するよう取り組んでいきたい。</p>
	⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	<p>地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、独居高齢者や高齢者世帯等に対し、日常的な声かけやあんしんカードの配布等を行う他、いきいきサロン参加の呼び掛けなどの機会を活用した見守り活動に取り組みます。</p>	<p>地区部会が独居高齢者や高齢者世帯などに対してやあんしんカードを配布すると共に、町内自治会が日常的な声かけを行うなど、継続的な見守り活動に取り組みました。</p>	<p>高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。</p>
	⑧ 地域での福祉教育の普及・啓発	<p>地区部会が町内自治会や学校、各種活動団体と連携・協力し、福祉講座を企画するなど、ボランティア活動の普及・啓発に努めます。</p> <p>また、サマーフェスタなどイベントの機会には近隣の小・中学校にボランティア募集を行い、ボランティア活動の実践を通じた福祉教育に取り組みます。</p>	<p>年度ごとにテーマを設定した地区部会主催による講座（10回）の開催や地区部会が町内自治会と連携・協力し、健康づくりや災害をテーマとした情報交換会を開催するなど、住民に対して地域ボランティア活動の普及・啓発に取り組みました。</p>	<p>地区部会が町内自治会・民児協と連携して、地域住民、エリア内の学校に対し、福祉への意識向上を目的として、福祉教育の普及・啓発に取り組んでいきたい。</p>
	⑨ 地域の情報の収集と発信	<p>地区部会や町内自治会等が、地域の活動に関する情報を相互に共有すると共に、広報紙等で情報発信に取り組みます。</p>	<p>地区部会や町内自治会が相互に会議等へ参加し、地域活動の情報の共有に努めるとともに、地区部会が広報紙（3回発行）で地域住民に対して地域活動の情報発信に取り組みました。</p> <p>また、地区部会が町内自治会と連携・協力し、健康づくりや災害をテーマとして情報交換会を開催するなど、情報収集などに取り組みました。</p>	<p>地区部会や町内自治会等が相互に会議等へ参加し、情報共有を図ると共に、情報交換会を通じて、関係者間で共有した情報は広報紙等を通じて地域へ発信していきたい。</p>

【山王地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	③ あいさつから始まる地域との関わり	セーフティウォッチャー、学校と更なる連携を進め、あいさつ運動を更に推進するため、青少年育成委員会や町内自治会、地区部会などとの協力体制づくりを進めます。	地区部会が小学校のセーフティウォッチャーと連携し、登校時にあいさつ運動を実施しました。 また、防犯パトロール時にあいさつ運動を行うなど、住民同士のあいさつ運動の浸透に取り組みました。	継続して、児童・生徒への登下校時や防犯パトロール時のあいさつ運動を行うため、青少年育成委員会や町内自治会などの関係団体と連携を図ると共に、活動を通じて、住民同士のあいさつ運動の浸透に取り組んでいきたい。
	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会や町内自治会、地域の各種活動団体等が連携・協力し、夏まつりやお楽しみ会など幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組むと共に、各イベントにおいて子育てサロンへの参加を促し、子育て世代との地域交流を進めます。	地区部会が町内自治会や地域の関係団体と連携・協力して、夏祭りや敬老会、地域の合同運動会などのイベントを実施し、多くの地域住民の参加・交流の場づくりに取り組みました。	引き続き、既存の地域活動を継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。
	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、民児協、学校、公民館などがイベントや地域活動の際に情報共有を行い、相互の連携・協力体制づくりに努めます。 特に、あいさつ運動を中心に、青少年育成委員会とも連携して通学路の安全を図っていきます。	地区部会や町内自治会、民児協、学校、公民館などが連携・協力し、各種会議や情報交換会を通じて情報を共有すると共に、地域イベントやあいさつ運動を通じて相互に連携・協力体制づくりに努めました。	町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。
	⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協、社会福祉施設などと連携・協力し、防犯パトロールを活用した見守り活動や、買い物に困難なひとり暮らし高齢者を対象とした買い物支援サービス「ドライブサロン」などの実施に取り組むなど、外出困難な高齢者を対象に、より丁寧な対応を進めます。	3町内自治会（山王町中央自治会、山王町南自治会、長沼原台自治会）が一人暮らし高齢者等に対して安否確認等による見守り活動に取り組みました。 また、地区部会が民児協や福祉施設と連携・協力して、買い物に困難な一人暮らし高齢者等を対象とした「ドライブサロン」はコロナウイルスの影響により実施には至りませんでした。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、担い手を確保するため、地域住民へ働きかける必要がある。 また、民児協や福祉施設と、休止中となっているドライブサロンの再開に向けた協議を行います。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	地区部会が公民館と連携・協力して防災講座を継続実施すると共に、町内自治会（自主防災組織）が防災訓練や避難所開設訓練などを行う中、より多くの地域住民に参加をしてもらえるよう日程調整をするなどし、防災に関する意識の向上に取り組めます。	地区部会が公民館と共催で地域での防災講座を企画すると共に、自主防災組織での防災・避難訓練を実施しました。	地区部会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組むと共に、町内自治会と連携が図れるよう体制の構築に取り組んでいきたい。

【轟・穴川地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課などと協力し地域の高齢者を対象としたいきいきサロン（8か所、50回開催、延べ343人参加）において健康体操や健康相談などを実施しました。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動方法の検討や活動内容など、協議を行い、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、老人クラブなど各種活動団体が、地域のイベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会が、町内自治会（7か所）で開催された敬老会への支援をした他、地域内の学校や福祉施設からの協力を得るなど、協力体制の構築に努めました。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	地区部会が公民館と連携・協力して防災講座を継続実施すると共に、町内自治会（自主防災組織）が防災訓練や避難所開設訓練などを行い、防災に関する意識向上に取り組みます。	一部の町内自治会（自主防災組織）が災害時に備え、必要な情報把握に取り組むと共に、防災・避難訓練を実施しました。	引き続き、町内自治会自主防災組織を中心に、地域住民に対して災害時に備えた支援体制の構築に取り組む必要がある。 また、防災に関連する講座の開催や避難所開設訓練などを行い、防災に関する意識向上に取り組んでいきたい。

【稲毛地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	① 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が公民館や社会福祉施設などと連携・協力し、いきいきサロンや子育てサロンを実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりの充実に取り組みます。	地区部会が公民館や福祉施設と連携・協力し、いきいきサロン（3か所、23回開催、延べ179人参加）、子育てサロン（1か所、5回開催、延べ25人参加）を実施し、住民同士が身近なところで気軽に集える居場所づくりに取り組みました。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、新規の参加者が気軽に参加できるよう地域の実情に沿った活動に取り組んでいきたい。
	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブを実施し、健康体操や健康相談を行うなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンター、行政などと連携・協力して、高齢者を対象としたいきいきサロン（3か所、23回開催、延べ179人参加）や散歩クラブ（12/7 15人参加）を開催するとともに、介護保険についての講座を開催するなど、健康増進や介護予防の普及啓発に取り組みました。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンの内容について参加者のニーズを把握して実施すると共に、介護予防に関する情報を共有し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会など各種活動団体や学校、幼稚園、保育園などが連携・協力して敬老会やふれあい広場などを企画実施し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会、各種団体及び近隣の小・中学校と連携・協力して敬老会（9/18）や、多世代の交流を目的としたふれあい広場（2/24）を開催し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みました。	地区部会が各種活動団体と、相互に連携・協力し、開催内容・方法などについて協議を行い、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。
	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが、地域のイベント（敬老会やふれあい広場など）を実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが相互に会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めました。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体を実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。
	⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して地域内のニーズを把握することに努め、見守り、支え合い活動の必要性について協議します。	地区部会が民児協や町内自治会と協力し、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどの地域活動を通じて、参加者への声かけによる見守り活動に取り組みました。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。

【稲丘地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	① 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館において、いきいきサロンや子育てサロンを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	地区部会と、町内自治会（稲毛東、稲毛台、稲丘町）が連携・協力し、自治会館及び稲丘小学校校庭、体育館等を利用したのサロン活動は（9ヶ所 47回 延べ382人参加）を実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりに取り組みました。	参加者の固定化・毎期、毎回同じ顔触れの集うサロン活動から脱却するため、新規の参加者が増えるようなサロン企画・開催を行う必要がある。
	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が、あんしんケアセンターや区健康課等と連携協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携・協力し、いきいきサロン（9ヶ所 47回 延べ382人参加）、あんしんケアセンターの協力を得て敬老会、文化祭での体力測定診断の実施を実施するなど、高齢者に対して健康づくりや介護予防に取り組みました。	区健康課、あんしんケアセンターなどと活動内容の検討、協議を行い、健康づくり、介護予防の普及・啓発のためのサロンづくりに取り組んでいきたい。
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（敬老会、地区運動会、正月行事など）を企画実施し、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が各町内自治会、稲丘小スポーツ振興会主催の敬老会や三色対抗競技会等のイベントへ協力するなど、多くの地域住民が参加交流できる場づくりに取り組みました。 なお、昔の子供遊びの再現や餅つき体験等の正月行事については諸所の事情を考慮し、開催を見送りました。	幅広く各世代が参加、交流できる場づくりとしてイベントの実施は一番有効な方法と考えているが、複雑、多様化した最近の社会環境下で、地域住民の共感、協力を得られるような新しいイベントづくりに会員と協議してその実現に努めていきたい。
	⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、いきいきサロンやふれあい食事サービスなどを通じて声かけによる安否確認を行うなど、見守り活動に取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協と相互に連携・協力し、高齢者に対しての声掛け、訪問、住民同士の見守り活動に取り組みました。 なお、ふれあい食事サービスについては、担い手不足、高齢化等もあって、従来の方法では実施が困難と判断し、常任理事会において、再会に向けての方策を協議しました。	担い手不足の解消に向けて、地域住民への働きかけと併せて、各町内自治会、民児協と連携・協力して、地域の実情に沿った活動の実施に努めていきたい。
	⑨ 地域の情報の収集と発信	地区部会が町内自治会、民児協、関係機関等と連携協力して会議等に相互に参加し、情報を共有するとともに、広報紙等により地域の活動の情報発信に取り組みます。	各町内自治会会長、民児協役員で構成される常任理事による常任理事会を隔月第3土曜日に開催し、情報の共有を図りました。 また地域住民に対して地区部会、各自治会発行の広報紙などにより情報発信に取り組みました。	地区部会を取り巻くネットワーク（町内自治会・民児協・学校・PTA・各種関係団体等）を活用し、より密な連携協力体制の構築を図ると共に、地域の活動の情報発信に取り組んでいきたい。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	町内自治会自主防災組織が地域住民に対して、災害時に備えて防災訓練や避難訓練を実施するなど、平常時からの防災への意識の向上に努めます。	稲丘小学校避難所運営委員の構成員に地区部会、町内自治会会長、民児協役員を明記し、防災に関する情報の共有を図りました。 また、稲毛区公開防災講座への参加や稲丘小避難所マンホールトイレ実証訓練、実施地域住民対象の防災訓練を行うなど、防災意識の向上に努めました。	町内自治会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を設けるとともに、防災に関する公開講座への参加を呼びかけ、住民一人一人の災害時に備えた意識の向上に努めていきたい。
	⑫ 地域住民を地域で守る取組み	町内自治会等が警察と連携し、地域住民の防犯意識を高めるために防犯パトロールを行うなど、住民同士の防犯活動に取り組みます。	各町内自治会が独自のルールで町内パトロールを行うと共に、夏休み、冬休み期間中には育成委員会、PTAが防犯パトロールを実施するなど地域内の防犯活動に取り組みました。	高齢化社会の中、地域の関係が希薄となる中、地区部会が町内自治会や民児協、育成委員会、警察などと連携し、地域住民の防犯への意識を高めると共に、防犯パトロールの強化を行うなど、防犯活動に取り組んでいきたい。

【千草台中学校地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター、区健康課等と連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロンなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンター、シニアリーダー等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン（5ヶ所 36回 延べ479人参加）、ポッチャ、グラウンドゴルフ大会、認知症声かけ訓練を実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みました。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、担い手を確保するため、地域住民へ働きかける必要がある。
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じた地域交流・多世代交流	地区部会が町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント（秋祭りや敬老会、地区運動会など）を企画実施し、幅広い世代層が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協などが相互に連携・協力して、秋祭りや敬老会、正月行事などを開催し、幅広い世代の参加・交流の場づくりに取り組みました。	引き続き、既存の地域活動を継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。
	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが、イベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが秋祭りや敬老会を連携・協力して、幅広い世代の参加・交流の場づくりに取り組みました。	町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体が実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に取り組んでいきたい。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	町内自治会が地域住民に対して避難訓練等を行うなど、平常時から災害時に備えた支援体制づくりに努めます。	地区部会や各町内自治会（自主防災組織）が連携・協力して、防災訓練（9/3）を実施し、災害時の支援体制づくりに取り組みました。	地区部会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組むと共に、町内自治会と連携が図れるよう体制の構築に取り組んでいきたい。

【草野地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	① 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館や集会所などにおいて、いきいきサロンや子育てサロン、地域カフェを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン（12ヶ所 77回 延べ1,029人参加）や子育て中の親子を対象とした子育てサロン（1ヶ所 8回 延べ111人参加）を実施しました。 また、幅広い世代が気軽に集える地域カフェを開設するなど、身近な居場所づくりに取り組みました。	町内自治会や民児協等と連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。
	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会があんしんケアセンターや区健康課と連携・協力し、いきいきサロンや散歩クラブなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協、区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン（12ヶ所 77回 延べ1,029人参加）や散歩クラブ（3ヶ所 16回 延べ101人参加）を継続して実施すると共に、健康講座や認知症サポーター養成講座などを実施して、健康づくりや介護予防の啓発に取り組みました。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと活動方法について検討を行い、いきいきサロン等において健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	町内自治会やスポーツ振興会、青少年育成委員会などが連携協力し、イベント（夏祭りやラジオ体操、敬老会、地区運動会など）を企画実施するなど、幅広い世代が交流できる場づくり取り組みます。	一部の町内自治会がスポーツ振興会や青少年育成委員会、子ども会と連携・協力し、夏祭りや夕涼み会、ラジオ体操、敬老会、防災訓練などを継続して企画実施し、幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組みました。	既存の地域活動を継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。
	⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会や町内自治会、民児協、URなどが連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対し、「安心登録カード」や「緊急医療情報キット」などによる住民同士の見守り活動に取り組みます。	町内自治会や民児協、URなどが連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して「あんしん登録カード」や「緊急医療情報キット」を継続して配布するなど、地域住民による見守り活動に取り組みました。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して、地域の実情に沿った支え合い活動の実施に向け取り組んでいきたい。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	地区部会や町内自治会、民児協などが千葉市と連携協力し、地域住民に対して災害時に備えて防災訓練や防災講座などを実施するなど、防災意識の向上に努めます。	町内自治会（自主防災）が地域住民に対して防災訓練や避難訓練を実施するなど、住民一人ひとりの災害時に備えた危機意識の向上に取り組みました。	町内自治会を中心に防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組むと共に、防災に関する講座を開催し、意識の向上に取り組んでいきたい。

【緑が丘地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	③ あいさつから始まる地域との関わり	地区部会が学校やセーフティウォッチャー、町内自治会などと連携・協力し、学校周辺及び通学路においてあいさつ運動を実施すると共に、防犯パトロールによる声かけを行うなど、地域内のあいさつ運動の浸透に努めます。	町内自治会や老人会が地域の防犯パトロールや、セーフティウォッチャーによる、小学校（宮野木小・柏台小）の登下校時の声掛けを行うなど、地域内のあいさつ運動に取り組みました。	継続して、児童・生徒への登下校時や防犯パトロール時のあいさつ運動を行うため、セーフティウォッチャーや町内自治会などの関係団体と連携を図るとともに、活動を通じて、住民同士のあいさつ運動の浸透に取り組んでいきたい。
	⑤ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	地区部会や町内自治会、民児協、青少年育成委員会、スポーツ振興会等がイベント（緑ピックなど）や交流会（民児協と子どもルーム交流など）の実施の際に相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協、青少年育成委員会、スポーツ振興会が連携・協力して、緑ピック等のイベントや、防犯に関する講座を開催しました。 また、民児協が子どもルームと行う交流会の支援を行うなど、連携・協力体制の構築に努めました。	既存の活動が継続できるよう、高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会、民児協、学校など地域の関係団体を実施する会議等へ参加し、情報共有を図りながら連携・協力体制の構築に努めていきたい。
	⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力して、高齢者等に対して日常的な声かけなどによる見守り活動やゴミ出し等、住民同士の見守り・支え合い活動の拡充に取り組みます。	地区部会が町内自治会、民児協と連携し、地域の高齢者に対して安否確認の訪問やゴミ出し支援等、見守りや支え合いに関する活動を行い、意見交換や情報共有に取り組みました。	地域のニーズを把握し、町内自治会や民児協などと連携・協力して、地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。

【301（作草部・天台）地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	新型コロナウイルスの状況を踏まえ、工夫しながら「社協まつり（敬老会）」や「夏休みラジオ体操大納会」等、大人数での事業開催に向け取り組んでいきたい。	新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、休止となっていた「社協まつり(11/3 敬老会)」や「ラジオ体操大納会(8/27)」を、町内自治会や民児協、小・中学校と連携・協力して開催し、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組みました。	各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容・方法などについて協議を行い、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。
	⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	地区部会が町内自治会・民児協と連携・協力し、高齢者等に対してゴミ出しや買物のお手伝いなど、身近な住民同士の支え合い活動に取り組んでいきたい。	地区部会が町内自治会・民児協と連携・協力して行う、「301地区支え合いの会」において、高齢者等を対象にゴミ出しや買物の手伝いの他、多様なニーズに対応するなど、住民同士の支え合い活動に取り組みました。 また、継続して2町内自治会において、「無事です」ステッカーを活用した安否確認や1町内自治会で新規に見守り活動を開始しました。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。
	⑨ 地域の情報の収集と発信	地域の団体・関係機関が相互に会議等へ参加し、情報共有を行い、地域住民に対し地域活動等の情報発信に取り組んでいきたい。	コロナウイルスの影響により規模を縮小して、地区部会や町内自治会、民児協、各種活動団体・関係機関が相互に会議等に参加し、情報共有を行いました。 また、広報紙（9月、3月発行）などを通じて地域住民に地域活動等の情報発信に取り組みました。	地区部会が関係団体と連携・協力して会議等に相互に参加し、情報共有を行うと共に、広報紙等により地域住民に対して有益な情報の発信に取り組んでいきたい。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	地区部会や町内自治会自主防災会などが連携・協力し、避難所開設訓練等や講座を実施するなど、地域住民に対して災害時に備えた防災に関する意識の向上に取り組めます。	地区部会や町内自治会自主防災会などが連携・協力し、避難所運営委員会の開催（7月）、避難所開設訓練や防災講座（9月）を実施するなど、地域住民に対し防災に関する意識の向上に取り組みました。	地区部会や町内自治会自主防災会などが連携・協力し、防災訓練や避難訓練などの機会を活用し、住民に対して災害時に備えた危機意識向上に取り組むと共に、町内自治会と更なる連携が図れるよう体制の構築に取り組んでいきたい。

【緑・黒砂地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
1 みんなの様々な居場所と健康づくり	① 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	地区部会が民児協などと連携し、公民館や公園などを活用し、高齢者や子育て世代の居場所づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン（11回 延べ169人参加）や子育て中の親子を対象として子育てサロン（4回 延べ42人参加）を実施しました。	活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。
	② 健康づくりや介護予防の普及・啓発	地区部会が区健康課やあんしんケアセンターと連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンや、ふれあい食事サービスを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組めます。	地区部会が民児協やあんしんケアセンターと連携し、高齢者向けにいきいきサロン（11回 延べ169人参加）を開催した他、エリア内数か所の公園でラジオ体操（3回 延べ32人参加）を開催し、健康講座などにより健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組めました。	地区部会が民児協やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンの内容について参加者のニーズを把握して実施すると共に、介護予防に関する情報を共有し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んでいきたい。
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	③ あいさつから始まる地域との関わり	学校（セーフティウォッチャー）と各種関係団体が連携し、一定期間に通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動を行い、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。	町内自治会や学校（PTA）と連携し、一定期間に、通学路や学校周辺であいさつ運動を行うと共に、見守り隊によるあいさつ（声掛け）をするなど、子どもから大人までが顔なじみになるよう、あいさつ運動への協力に取り組めました。	町内自治会、学校、セーフティウォッチャー等と連携し、あいさつ運動の拡充を図ると共に、地域のイベントや広報媒体等を通じて広報啓発を行い、あいさつ運動が地域へ浸透するよう取り組んでいきたい。
	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	地区部会が主体となり幅広い世代が参加できる「福祉バザー」を実施する他、町内自治会、民児協が連携・協力し、「納涼祭」「敬老会」等を実施するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	町内自治会や青少年育成委員会、民児協が連携・協力し、地域全体で納涼祭（8/19）や敬老会（9～10月）、福祉バザー（11/23）を開催するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みました。	既存の地域活動を継続するため、各種活動団体が、相互に連携・協力し、開催内容を充実させるなど、幅広い世代が参加・交流できる場づくりに取り組んでいきたい。
3 災害などに備えた安全・安心なまちづくり	⑫ 地域住民を地域で守る取り組み	町内自治会や民児協、各種活動団体が連携・協力して防犯活動協力者を確保し、自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組めます。	民生委員活動を通じて、高齢者等に対し声かけによる安否確認や、一部の町内自治会が、週2回の防犯パトロールや見守り活動を継続して取り組むと共に、「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示するなどして、地域内の防犯活動に取り組めました。	高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。

【小中台西地区部会】

基本方針（5期）	取組項目（4期）	令和5年度の目標又は予定	令和5年度の実績	今後の課題と方針
2 互いを知り、活かし、支え合い、助け合う、地域づくり	③ あいさつから始まる地域との関わり	<p>地区部会が町内自治会・学校・青少年育成委員会と連携・協働し、あいさつをテーマにした標語の作品募集を行い、「東西社協まつり（10月）」や広報紙などで作品の広報啓発に取り組みます。</p> <p>また、地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、町内に掲出するステッカー等により、地域住民に「あいさつ・声かけ運動」の浸透に取り組みます。</p>	<p>地区部会が近隣校（園生小、小中台小、柏台小、小中台南小）の協力を得る中、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、「東西社協まつり（小中台公民館）」で優秀作品の展示会を行うと共に、あいさつ運動のステッカーを作成して町内自治会の掲示板に掲示するなど、あいさつ運動の浸透に取り組みました。</p> <p>また、セーフティウォッチャー（園生小・小中台小、小中台南小）が青少年育成委員や民生委員と連携・協力して登下校時のあいさつ運動や、町内自治会が防犯パトロールを兼ねてあいさつ・声かけ運動に取り組みました。</p>	<p>引き続き、町内自治会、学校、セーフティウォッチャー等と連携し、町内自治会が防犯パトロールを兼ねたあいさつ・声かけ運動の拡充を図るとともに、地域のイベントや広報媒体等を通じて広報啓発を行い、あいさつ運動が地域へ浸透するよう取り組んでいきたい。</p>
	④ 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	<p>地区部会が町内自治会や民児協、各種活動団体と連携・協力して「東西社協まつり（10月）」や「茶話会（3月）」などイベントを企画実施する他、自治会単位で開催する祭やイベントなどを通じて住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。</p>	<p>地区部会が町内自治会や民児協、商工会、学校などと連携・協力し、「東西社協まつり（10/28 小中台公民館）」や町内自治会ごとに夏祭り、75歳以上の高齢者を対象とした「茶話会（3/17 予定）」を開催するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みました。</p>	<p>高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。</p>
	⑥ 地域住民の参加による見守り・支え合い	<p>地区部会が町内自治会や民児協と連携し、一人暮らし高齢者等に対して日常的な声かけなどの安否確認等による見守り活動に取り組みます。</p>	<p>7町内自治会が一人暮らし高齢者に対して訪問による声かけや防犯パトロール等により安否確認の見守りを継続的に取り組んだ他、地区部会が町内自治会や民児協と連携・協力し、いきいきサロン（7会場）の活動を介して高齢者等の見守りに取り組みました。</p> <p>また、一部の自治会で平常時のほか、被災時など緊急時の見守りとの2パターンを想定した見守り活動に取り組みました。</p>	<p>高齢化に伴う担い手不足の解消に向け、活動が継続できるよう、地域住民へ働きかけると共に、町内自治会や民児協などと連携・協力して地域の実情に沿った活動が実施できるよう取り組んでいきたい。</p>